

たけら

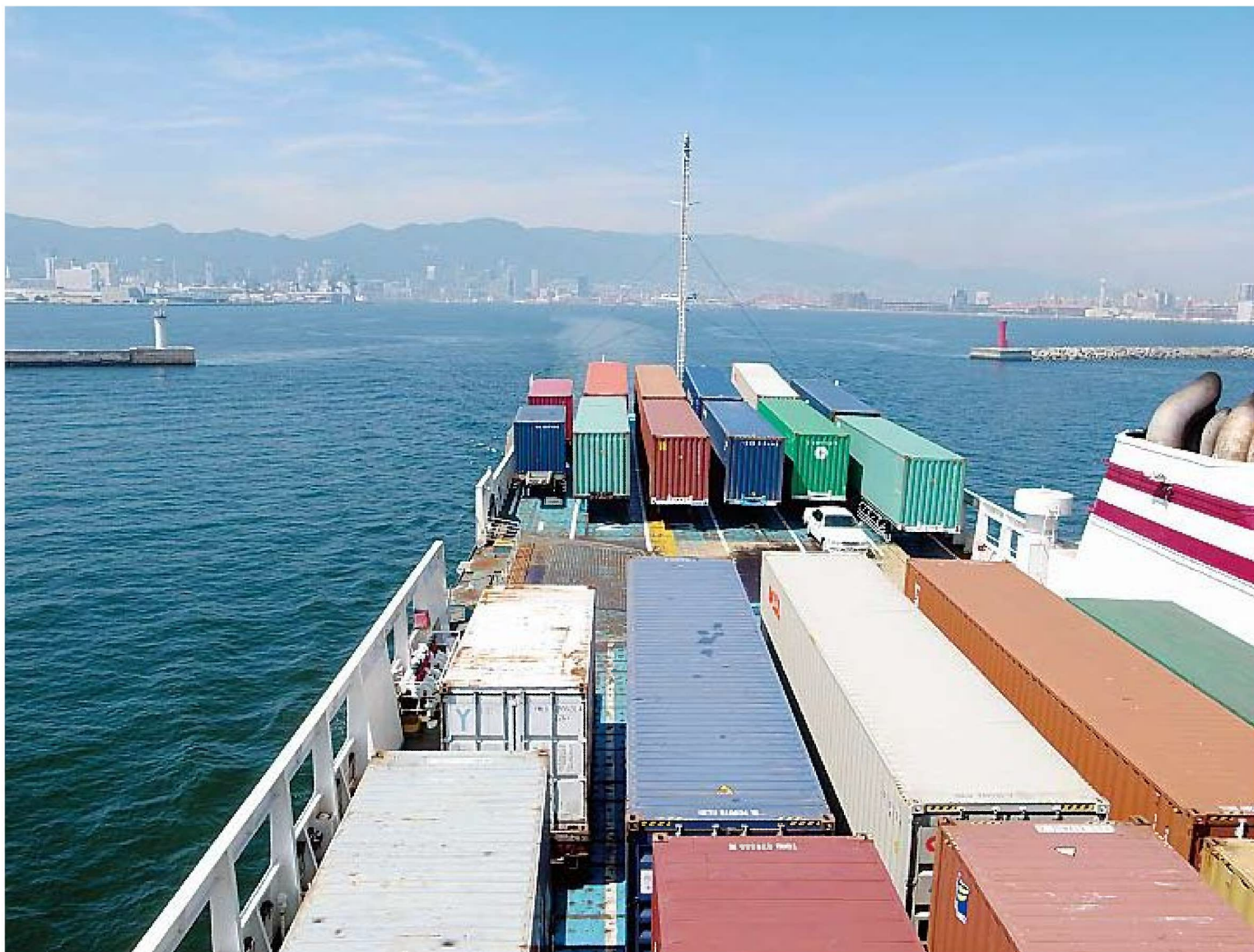
兵庫の漁業人のための情報誌

TAKUSUI
No. 681

7

July. 2013

発行 財兵庫県水産振興基金



フェリー船上から見る神戸港（神戸市）

「平成25年度 兵庫県漁業協同組合長懇談会 第39回 豊漁祈願祭」開催

大学のゼミで摂播漁青連 大角会長が講義
各団体で総会開催

ようこそ

「ようこそ」とは航海用語で「宜しく候」の意。
主に船を直進させるときの方角として使われる。

鯛や鮒の舞い踊り・竜宮城の夢の痕

公益財団法人ひょうご豊かな海づくり協会 専務理事 **楠本 正博**



当協会では、旧栽培漁業協会の時代から30年以上に亘って、種苗放流を行ってきました。しかし、県の行財政改革の煽りを受けて種苗生産の委託費が年々減り続け、平成14年度の2億2000万円が平成25年度には1億4000万円にまで落ち込み、さらに、平成30年度までには、1億円まで削減する改革が進められています。

このため、来年度からは、県からの委託生産魚種・数量が大幅に削減されることになりそうです。さらに、県の財政当局から、関連公社（当協会も該当）等の資金運用について方針が示され、今後は実質的に、国債、県債等安全な債券の運用しか認められず、これまで運用してきた為替運動型の仕組み債の新たな運用はできないことになりました。運用益については、平成25年度は約2億円を見込んでいましたが、今後は年々減少し、最終的には5000万円程度になるものと想定されます。

これらの厳しい情勢を踏まえ、栽培漁業の新たな取り組みとして、これまで水産技術センターと共同研究を行ってきたキジハタの受精卵を譲り受け、今夏から但馬栽培漁業センターで種苗生産試験に取り組み予定です。また、県から委託を受けてきたアサリの種苗生産試験でできた0.5ミリサイズのアサリの中間育成で10〜15ミリ程度までできるようになったので、今後は、中間育成後の大型種苗の大量生産に向けた取り組みを進めて行きます。

今後、有償配布の検討や栽培漁業、漁場環境、操業安全等の事業に対する助成金についても、見直しを検討する時期にきているのではないかと考えています。年ごとに運営が厳しくなる当協会の状況にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

CONTENTS

No.681 July. 2013

- 2 ようこそ
- 3 平成25年度 3団体総会が開催される
- 4 就任の挨拶
新JF組合長のご紹介
森 武美氏が全国女性連会長に就任
全国漁業協同組合連合会長に岸 宏氏が就任
- 5 平成25年 兵庫県漁業協同組合長懇談会と
第39回 豊漁祈願祭を開催
浜坂漁業協同組合になりました
- 6 第38回 兵庫県漁民物故者合同供養祭開催
瀬戸内海再生議員連盟「瀬戸内海の貧栄養化について」第4回勉強会開く
- 7 関西学院大学のゼミで大角会長が講義
- 8~11 各団体で総会開催
- 11 「森から見た砂問題」をテーマに砂問題研究会・公開講座を開催
- 12 6月の“命を守る運動”海上安全講習会
海の事故ゼロキャンペーン
- 13 兵庫JCC通信
- 14 旬に想う
大輪田塾だより



表紙の言葉

「フェリー船上から見る神戸港」(神戸市)

写真は、各JF・系統団体が行っている海上安全講習会で、大型船の航海感覚や操船の難しさを体験しようと、沖に出たときのものです。(詳細は拓水次号に掲載予定)

神戸港は、奈良時代より「大輪田泊」と呼ばれ、平安時代には平清盛によって日宋貿易の拠点として栄えました。明治時代には但馬・丹波地方と絹製品や鉱物資源を輸送する鉄道で結ばれ、豊かな播磨地域の税収を使い、国際貿易港として整備され発展したと言われています。

県内各地と結びつき、世界に向かって開かれている…まさに大阪港と並ぶ“関西経済の玄関口”です。

REPORT

各団体からの報告

総幹3団体総会



平成25年度 3団体総会が開催される

JF兵庫漁連・JF兵庫信漁連・兵庫県漁業共済組合

JF兵庫漁連、JF兵庫信漁連、兵庫県漁業共済組合の3団体による合同総会が、6月21日（金）明石市内のホテルにて開催されました。

JF兵庫漁連は臨時総会、JF兵庫信漁連と兵庫県漁業共済組合は通常総会で、JF組合長、系統団体のほか、知事をはじめとする県の関係者などあわせて約80名が出席しました。

まず、総会開催に先立ち、先日、2013年度漁協運動功労者表彰を受章されたJF富島 小西 正治前組合長に、JF兵庫漁連 山田 隆義会長より褒状などが授与されました。



主催者挨拶に立つ JF兵庫漁連 山田 隆義会長



褒章を受ける小西前組合長



来賓挨拶を行う 兵庫県 井戸 敏三知事

この後、JF兵庫漁連 山田 隆義会長の主催者挨拶に続き、来賓の方々の挨拶の後、3団体総会の共通議長にJF五色町 播磨 孝次組合長が選任され、上程された議案はすべて承認されました。

JF兵庫信漁連



JF兵庫信漁連 山田 峰人会長

挨拶に立った山田 峰人会長は、5月に行われた燃油高騰対策を求める兵庫県漁業者決起集会に触れられ「全国に兵庫の組織力を示すことができた」とされ、信漁連については「厳しい経営を迫られるなか、大幅な機構改革に着手し経営改善に取り組みたい」と話されました。この後、平成24年度の事業報告、平成25年度事業計画などが上程されました。25年度事業計画では、漁業系統金融機関として存在意義を發揮す

兵庫県漁業共済組合

上村組合長は挨拶で「拡充・強化された『きよさい』と『積立ぶらす』の加入促進に取り組んだ結果、皆様のご協力もあり前年を11億4千万円上回る216億8千万円となった。支払実績は1億7千万円となり過去35年間で最小となった。平成25年も更なる推進を図る」とされました。この後、平成24年度の事業報告をはじめ、平成25年度事業計画などが上程されました。事業計画では最終年度を迎える普及推進全国運動に関連した推進活動や広報活動の展開などを挙げ、本年度加入目標金額を漁業共済事業220億2千万円、地域共済事業5億円、積立ぶらすの漁業者積立金額を5億4千万円としました。



兵庫県漁業共済組合 上村 広一組合長

JF兵庫漁連

JF兵庫漁連は任期満了にともなう役員選任について、JF兵庫信漁連、兵庫県漁業共済組合の役員選任議案とともに3団体一括上程として諮りました。

このあと、3団体の会長、組合長の選任が行われ、JF兵庫漁連 山田 隆義会長、JF兵庫信漁連 山田 峰人会長の再任が決まり、兵庫県漁業共済組合は川越 一男氏

（JF浜坂組合長）が就任し、それぞれ挨拶を行いました。

なお、各団体の役員の皆様は次のとおりです。

兵庫県漁業共済組合長に就任した川越 一男氏



	JF兵庫漁連	JF兵庫信漁連	兵庫県漁業共済組合
理事	山田 隆義代表理事会長 (JF神戸市)	山田 峰人代表理事会長 (員外)	川越 一男組合長理事 (JF浜坂)
	田沼 政男副会長理事 (JF林崎)	社領 弘副会長理事 (JF一宮町)	前田 若男副組合長理事 (JF福良)
	山口 徹夫専務理事 (員外)	里 昭彦専務理事 (員外)	石原 満専務理事 (員外)
	中村 利公理事 (JF家島)	山田 隆義理事 (JF神戸市)	山田 隆義理事 (JF神戸市)
	中川 照央理事 (JF室津)	田沼 政男理事 (JF林崎)	田沼 政男理事 (JF林崎)
	武田 政和理事 (JF由良町)	中川 照央理事 (JF室津)	中川 照央理事 (JF室津)
	社領 弘理事 (JF一宮町)	大河 優理事 (JF赤穂市)	東根 壽理事 (JF淡路島岩屋)
	前田 若男理事 (JF福良)	前田 若男理事 (JF福良)	社領 弘理事 (JF一宮町)
監事	村瀬 晴好理事 (JF但馬)	村瀬 晴好理事 (JF但馬)	村瀬 晴好理事 (JF但馬)
	川越 一男理事 (JF浜坂)	川越 一男理事 (JF浜坂)	磯田 和志理事 (JF但馬)
	小溝 政二代表監事 (JF育波浦)	橋本 幹也代表監事 (JF江井ヶ島)	岡田 光司代表監事 (JF飯屋)
	笹倉 邦夫監事 (常勤監事)	宮崎 二郎監事 (常勤監事)	山本 章等監事 (JF西二見)
	戎本 裕明監事 (JF明石浦)	杉谷 富弘監事 (JF湊)	島田 正彦監事 (員外)
	島田 正彦監事 (員外)	清水 浩幸監事 (員外)	

就任の挨拶



兵庫県漁業共済組合
組合長理事 川越 一男氏

この度の総会において選任を頂き、また、理事会の総意を得て組合長理事の大役を仰せつかることになりました。共済組合長という席は、重責であると考えておりますので、身の引き締まる思いがいたします。

昨今、異常気象や予期せぬ自然災害の発生で漁業経営に非常に大きな影響を及ぼす共済事故が多発しております。また一方では、燃油高騰が漁業経営の大きなコスト負担となっております。しかしながら、燃油高騰に対する国の支援は、我々が納得できるようなものは出てきてはおりません。

そのような状況下、「ぎよさい事業」・「積立ぶらす」は、漁家経営において、重要な位置を占めると考えております。「ぎよさい」と「積立ぶらす」を県下各地に広く隅々まで拡充することを目的とし、意欲ある漁業者が加入しやすい環境作りを注いでいきたい、そして、漁業経営を下支えるために、県・行政とも連携を密にし、制度がより利用しやすいものになるようにしていきたいと考えます。

平成24年度は、収支の結果は黒字を計上できましたが、今年度は、のり養殖業不振等での多額の共済金支払が影響し、黒字が計上できるかは不透明であります。どんな状況に置かれても、漁業者の要望に対しどう答えるかを念頭に置きながら、この共済組合長を務めさせて頂く所存ですので、どうかご理解・ご支援をお願いいたします。

平成25年6月吉日

新JF組合長のご紹介

平成25年4月～6月までの間に、新たにJF組合長に就任された方の御名前をご紹介します。

- JF東播磨 代表理事組合長 川崎 十九男氏（6月2日就任）
- JF坊勢 代表理事組合長 岡田 俊也氏（6月16日就任）
- JF相生 代表理事組合長 山本 勝己氏（6月1日就任）

※(財)兵庫県水産振興基金確認分

森武美氏が 全国女性連会長に就任



6月13日（木）、全国漁協女性部連絡協議会は東京で総会を開き、任期満了に伴う役員改選で、新しい会長として森武美氏（JF兵庫県女性連会長）が、同日に就任されました。森氏は

平成元年にJF福良女性部長、平成9年に淡路地区漁協女性部連合会長、平成13年に兵庫県漁協女性部連合会長に就任され、魚食普及への積極的な取り組みなどを行っておられます。なお、任期は2年となっています。

全国漁業協同組合連合会長に 岸宏氏が就任

6月25日（火）、全国漁業協同組合連合会の2013年度通常総会が東京・内神田のコープビルで開催されました。そこで任期満了に伴う役員改選が行われ、新しい同連合会長に岸宏氏（漁業協同組合JFしまね会長・69才）が就任されました。岸氏は1998年JF島根漁連会長、2006年漁業協同組合JFしまね会長、2010年JF全漁連理事、2011年JF共水連副会長などを経て、JF全漁連会長に就任。



JF全漁連 岸宏新会長
(写真提供：JF全漁連)

平成25年 兵庫県漁業協同組合長懇談会と 第39回 豊漁祈願祭を開催

JF兵庫漁連

7月2日（火）、美方郡新温泉町内のホテルにて平成25年兵庫県漁業協同組合長懇談会が開催され、県下JFの組合長をはじめ、行政・系統団体役員ら約70名が出席しました。

開会にあたり、JF兵庫漁連 山田隆義会長は「本県を取り巻く漁業環境は厳しさを増すばかりで、特に燃油高騰問題に関しては、5月25日の淡路島・5月29日の東京と決起集会にご協力いただいたものの、良い結果が生まれなかった。自民党が政権に復帰した際には、もっと水産業を支援してくれるものと思っただけが、なかなかそのような訳にも行かず、政府の円安誘導により燃油は@14円/ℓも高騰しており、漁業者全体として年換算で総額200億円もの負担増になって、このままでは経営が立ち行かない。他にも豊かな海を復活させるための瀬戸内海再生法の制定に向けた運動や、TPPの問題等課題は山積しているが、このような背景も踏まえ、今日の講演を拝聴し、我々に何が出来るのかを考えたい。」と挨拶されました。続く講演会は「水産を巡る昨今の情勢について」と題し、水産庁 漁場漁港整備部 木島利通防災漁村課長から、



木島防災漁村課長の講演



講演を行う濱田准教授

また「漁協経営と漁業権の在り方について」とし東京海洋大学 海洋政策文化学科 濱田武士准教授から講演があり、参加された方々は熱心に耳を傾けていました。

翌3日（水）、豊漁祈願祭（第39回）が浜坂漁港荷捌き所で執り行われ、県下JF組合長、系統団体、行政から約60名が参加しました。神事は新温泉町にある宇都野神社の宮司によって厳かに執り行われ、参加者一同は豊漁と海上安全を祈願しました。



豊漁祈願祭で挨拶を行う山田会長

浜坂漁業協同組合になりました ～JF浜坂町が名称変更～

JF浜坂町（川越 一男組合長）は、本年度総会において、漁協名を「浜坂町漁業協同組合」から「浜坂漁業協同組合」に変更しました。なお、住所、電話番号等の変更はありません。

※拓水紙面上では今月から「JF浜坂」で表記しております。

第38回

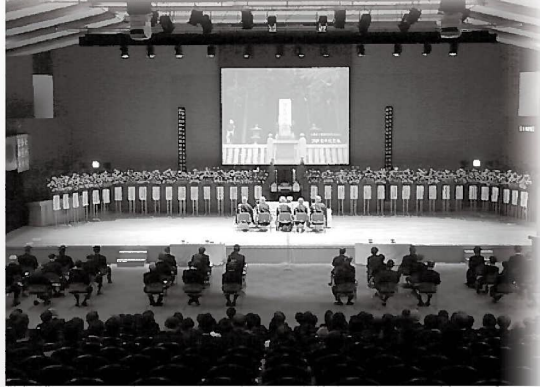
兵庫県漁民物故者合同供養祭開催

JF兵庫漁連

本年、第38回目となる兵庫県漁民物故者合同供養祭（主催・JF兵庫漁連）が、6月11日（火）和歌山県の高野山大学松下講堂並びに慰霊塔前において厳かに執り行われました。

会場には県内漁業関係者ら221名が参列し、開会にあたり遺族代表の佐野久司さん（JF明石浦）と北谷みどりさん（JF神戸市）の手で、平成24年度中に物故された152柱の芳名簿が祭壇に奉納されました。主催者代表として挨拶に立ったJF兵庫漁連 山田隆義会長は「本県が全国有数の水産県として今日あるのは、ここに合祀されておられますご尊霊のご努力の賜物であり、在りし日の輝かしき業績に対し深く敬意を表します。残る我々は力を合わせて豊かな漁場を取り戻し、次世代に引き継ぐことを誓います。」とされ、続いて来賓を代表して兵庫県知事（県水産課近藤敬三課長 代読）、JF全漁連会長（JF全漁連 田口 昭博常務理事 代読）から追悼のことはをいただきました。その後、読経の流れるなか、主催者、ご遺族、来賓、一般参列者の順に焼香が行われ、JF兵庫女性連 森 武美会長から全参列者に御礼が述べられ、供養祭は厳粛のうちに滞りなく終了しました。

これまで合祀されたご尊霊は今回の152柱を含めて11,821柱となりました。心からご冥福をお祈りいたします。



瀬戸内海再生議員連盟

「瀬戸内海の貧栄養化について」第4回勉強会開く

（財）兵庫県水産振興基金



自民党の瀬戸内海再生議員連盟の第4回勉強会が、6月19日（水）東京・永田町の自民党本部で開かれ、広島大学大学院生物圏科学研究所 山本 民次教授による「瀬戸内海の貧栄養化について」の講義を受けたあと、意見交換が行われました。11名の国会議員と議連参加議員秘書のほか、環境省、水産庁、ならびにJF兵庫漁連 山田隆義会長をはじめ瀬戸内海関係漁連代表者ら約70名が出席しました。

同議連の事務局長で司会進行を務めた末松 信介参議院議員（兵庫）は、「これまで3回の勉強会で瀬戸内海の状態を共通認識としてきた。今日は課題になっている貧栄養化とはどういう海か、豊かな海へどういった対策が考えられるかについて勉強したい。秋の臨時国会に向けて議論を詰めていきたい」として開会された。また、山本教授は、1960年代の富栄養化時代から貧栄養化時代へ環境が変化してきた

た背景について、チッソ、リンなど流入負荷の削減、ダム・堰の建設、埋立等による底質の劣化と栄養塩回復量の減少など人為的要因が大きいこと、また、瀬戸内海全域の栄養塩収支計算や、負荷の増減が生態系の構造に与える影響などを図解しながら、瀬戸内海は貧栄養化で危機的状況にあると説明し、その上で下水処理場の高度処理や新規建設の見直し、産業系排水の規制緩和、ダム建設と漁業用水の確保工夫、環境配慮型公共事業としての底質改善努力などを提言され講義を終えました。出席議員からは「今日の提言を法制化に向けて参考にしたい」、あるいは「海域毎に環境構造が違いやみくもに規制強化を掲げることは再考すべきだ」等々意見が出されました。なお、この勉強会に先立ち、法制化に向けての具体的要望事項について、JF兵庫漁連 山口 徹夫専務が主導して瀬戸内海関係漁連代表者らで検討会が開かれ、おおよその方向付けが行われました。



関西学院大学のゼミで大角会長が講義

～水産物の魅力を知ってもらおうと学生らと交流～

(財)兵庫県水産振興基金

6月18日(火)、西宮市の関西学院大学において摂津播磨地区漁協青壮年部連合会(大角生馬会長)主催の「平成25年度 関西学院大学消費流通検討交流会」が開催されました。この会は、大輪田塾講師団顧問で同大学文学部 田和 正孝教授と、同塾5期生でもある大角会長との間で話もたれ初めて実現したもので、学生に漁業の現状を伝えるとともに、試食も踏まえて水産物の魅力を知ってもらおうというものです。

当日は田和教授のゼミ生(3回生)14名のほか、漁青連のメンバーらあわせて25名が教室に集まり、まず田和教授からゼミ生へ、摂播漁青連や大輪田塾について説明されました。この後、約1時間にわたり大角会長は、普段の操業の様子にはじまり、ガザミぶやその会の活動や魚食普及の取組み、植樹活動とその考え方などについて話をし、「これからは魚を獲るだけでは駄目。資源管理や獲れた魚の販売方法など、今何が出来るのかを考えることが必要」と締めくくりました。また田和教授は「直接漁業者から話を聞くことは学生にとっても貴重な体験。聞いた話は自分たちの環境や食文化を考えることに役立つ」とされ、今後も交流が続くことに期待がされました。

講義の後、学内の食堂での昼食となり、同漁青連が用意したシラス、アナゴ、ノリなどの加工品が並べられ、ゼミ生らはご飯の上に乗せて食べながら、意見交換を行いました。塩茹でしたエビなどは好評で、試食をした同大学生協の担当者も「学食で使ってみたい」と

高い評価をいただき、有意義な食事会となりました。

漁青連メンバーらは、この後大学図書館に移動し、明治16年刊行の「兵庫県漁具図解」の原本を見る機会に恵まれました。特別室に用意されていたのは兵庫県内全9巻のうち、摂津・播磨の地域のもので、今と大きく形を変えない漁具の詳細な絵や、漁労の挿絵の生き活きとした描写に感心した様子で見入っていて、学びの場で新たに刺激を受けることが出来ました。

同漁青連では、今後、同大学と得た繋がりを生かして、意見交換やイベントなどで水産物のPRを行っていき、交流を深めたいとしています。



田和教授と討論する大角会長



貴重な文献を閲覧しました



どの料理も好評でした!

平成25年度 通常総会を開催

共水連兵庫県事務所・兵庫県漁業信用基金協会

共水連兵庫県事務所と兵庫県漁業信用基金協会は、6月7日（金）明石市内のホテルにおいて、それぞれ平成25年度通常総会を開催しました。

共水連兵庫県事務所からの

メッセージ

平成24年度活動報告及び平成25年度活動計画並びに任期満了に伴い運営委員の選任についてご審議いただき、原案どおり可決決定されました。今後とも漁業者の負託に応えるため新体制で



共水連兵庫県事務所総会の総会の様子

り一層の努力をしてまいりる所存です。で、会員の皆様の格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫県漁業信用基金協会からの

メッセージ

会員並びに関係団体より多数の皆様にご出席いただき無事全ての議案が可決決定されました。協会の使命を果たすべく、役員一同いっそうの努力をはかって参ります。今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



基金協会総会で挨拶に立つ吉岡理事長

平成25年度 県漁青連・女性連合同総会 開催

兵庫県漁協青

壮年部連合会、

同漁協女性部連

合会は、6月29

日（土）明石市

内で合同総会を

開催し、それぞ

れ平成24年度事

業・収支決算報

告、平成25年度

事業計画・収支

予算案、会費賦

課額および徴収

方法など議案が

全て原案通り承

認されました。

また、県女性連

は任期満了に伴

う役員改選が行

われ、森会長が

再任されました。当日は両団体の会員や県・系統団体からの来賓者ら約110名が出席し、全国漁青連の歌「いざ大海原へ」と漁協女性部の歌を全員で斉唱したあと開会しました。

開会にあたり、先ず県漁青連 大角 生馬会長、県女性連 森武美会長がそれぞれ挨拶し、続いて来賓の県水産課 近藤 敬三課長より挨拶がありました。又、系統諸団体を代表してJF兵庫漁連 山田 隆義会長が挨拶され、その中で森 武美会長が全国女性連会長に就任された事をご紹介されました。続いて開かれた交流大会では、漁協の協力組織としてしっかり役割果たすことなど決議文を採択。その後、「会話のストレスフリー」と題して、(有)グレイ

スプランニング 大西くみ子氏による記念講演が行われました。



大西氏による記念講演の様子

平成25年度 播磨地区漁協女性部連合会通常総会・研修会

播磨地区漁協女性部連合会は、6月19日(水)、兵庫県立水産技術センターにて、10会員のうち、10会員(うち1委任状)56名と(一社)播磨漁友会 井上会長はじめ来賓14名の出席のもと平成24年度通常総会を開催しました。

総会は、本多春代会長の挨拶、井上仁漁友会会長はじめ来賓紹介に続いて、議事に入りました。平成24年度事業報告、収支決算、同25年度事業計画・収支予算が承認されたのち、役員改選があり、互選により再任された本多春代会長は、「女性部員として知恵を出し合い、明るい漁村づくりに努めたい。」と挨拶されました。なお、会長以外の新役員は次のとおりです。

副会長…中村則子・井上千鶴
理事…伊藤設子・山本百合子・草部俊美・岡田利恵

監事…若松美由紀・橋ひとみ・高谷洋子

(敬称略、順不同)

総会終了後、兵庫県水産技術センター「技術参与 反田賢氏を講師に迎え、「ひょうごの豊かな海づくりに向けて」をテーマに、瀬戸内海の栄養に関する学習会があり、生産量全国14位、生産額全国10位(H22年データ)と水産業が盛んな兵庫県の現況、過去数十年にわたる瀬戸内海各定観測データなどからみる海の現状や海の栄養塩などを学び、真に豊かな海について考える機会を得ました。「従来の海と何が違う」と肌で感じている女性部の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。



平成25年度 但馬地区漁協女性部連合会通常総会・研修会

研修会

平成25年6月14日(金) JF浜坂にて、但馬地区漁協女性部連合会通常総会が開催されました。

4会員のうち、4会員40名と但馬水産事務所村口重治所長、JF浜坂川越一男組合長、JF兵庫信漁連 黒田 俊文 但馬支店長はじめ来賓13名の出席のもと、平成24年度事業報告、収支決算、同25年度事業計画・収支予算が承認されたのち、役員改選が行われ、山中悦子会長(JF香住)をはじめ7名の役員が選任されました。

副会長…木下美保子、中村裕江

理事…吉野美妙子、大西扶美子、山下美紀子、

監事…小林美千代、久瀬よし子(敬称略、順不同)

総会終了後の研修会では、地元浜坂ご出身で子どもN GO「懐」代表 高森 拓也氏を講師に迎え、浜坂の子どもたちがボランティアとして東日本大震災の被災地を訪れたことについて、講義を受けました。

JF浜坂と同女性部も賛同されたこの活動を「東北に向かった子どもたち」と題しまとめられた映像を見て、復興に向けたいまに進もうとしている被災者の姿や、現地でのふれあいによりこれまで他人事だったことを我が事として受け止めてどんどん変わっていく子どもたちを知り、女性部員は大きく心を揺さぶられたようです。講師は、「まず、体験すること。そして、自己体験のみに終わるのではなく、いつか、誰かにそのことを伝えていくことが必要だと考えます。」と締めくくられ、物事を知ることによる変化や自覚が大切であることを学びました。



第38回 通常総会を開催

(一社) 播磨漁友会

盛んで無事故が続くことを願っているが、漁業はもともと悪い商売でないはずで、将来に希望をもって頑張っていきたい。」と挨拶がありました。

来賓の県水産課 近藤 敬三課長とJF兵庫漁連 山口 徹夫専務からは、異口同音に「燃油対策として大きな取組みを行ったが、結果は不十分で、不満の残る内容である。」との見解が示されました。

3人の新組合長が紹介された後、議事に入り、〈第1号議案〉平成24年度事業報告及び収支決算、〈第2号議案〉平成25年度役員報酬、〈第3号議案〉理事の補欠選任、〈第4号議案〉平成25年度会費の4議案が承認されました。

3号議案でJF坊勢 岡田 俊也組合長が新たに理事に選任されました。

なお、新たにメンバーになられた組合長の方々は、次のとおりです。

- ・ JF東播磨…川崎 十九男組合長
- ・ JF坊勢…岡田 俊也組合長
- ・ JF相生…山本勝己組合長



明石市以西の16 JFで構成する一般社団法人播磨漁友会の第38回通常総会が、6月28日(金)、姫路市内のホテルで開催され、平成24年度事業報告など4つの議案が承認されました。

主催者として井上仁会長(JF岩見)から「海の生態系が確実に変化しており、今まで見たこともない魚が獲れる。漁が

平成25年度 淡路漁協職員協議会 通常総会

淡路漁協職員協議会（会員113名）の平成25年度通常総会が、6月8日（土）に洲本市内のホテルで開催され、決算、予算など3つの議案が承認されたほか、任期満了に伴う役員改選が行われました。

総会は、主催者挨拶に続き、来賓として挨拶を行なった淡路水交会 前田 吉計会長から「淡路の漁師は漁協職員に支えられている。組合運営のこともほとんど職員に聞かないとわからない。状況は厳しいが、これからも共に頑張りたい。」との激励の言葉がありました。JF兵庫漁連 突々淳 参事からは、祝辞の中で今期ノリ共販や瀬戸内海再生法の動向とあわせて、「燃油高騰に対し県大会、全国大会を構えて訴えたが、単価が95円以上になった時の負担割合が見直される程度で、納得できる回答は出てきていない。」と状況報告されました。

続いて5人のJF職員功労者に対し、前田水交会長から表彰が授与された後、議事に入り、平成24年度事業報告と決算（第1号議案）、平成25年度事業計画と予算（第2号議案）、会費賦課額（第3号議案）はすべて承認されました。平成24年度事業としては、11月に但馬への研修旅行と12月に系統懇談会を行ったこと、平成25年度も同様に研修事業などを行うことが報告されました。

この日の役員改選によって、新たに就任された役員の方々は、次のとおりです。

会 長	田村富弘（JF沼島）
副会長	中村忠司（JF由良町）
理 事	望月睦巳（JF育波浦）
	戎 美保（JF仮屋）
監 事	山崎栄祐（JF五色町）
	福原若美（JF南あわじ）
	（敬称略、順不同）

平成25年度 播磨地区 漁協職員協議会 通常総会

播磨地区漁協職員協議会は、6月25日（火）、播磨漁友会館において26会員のうち、26会員（うち5委任状）と（一社）播磨漁友会 井上仁（会長はじめ来賓12名の出席のもと、平成25年度通常総会を開催しました。総会は、藤田次男会長（JF西二見）の挨拶のあ

と、来賓の井上漁友会長より「取り巻く環境はさらに厳しくなっているが、誇りと信念を持って組合を支えていただきたい」との祝辞がありました。

その後、議事に入り、平成24年度事業報告・収支決算、25年度事業計画・収支予算など、上程された3議案はすべて承認され、漁業経営の安定に寄与するため、職員の研修や意見交換会を通し、更なる知識の習得と連携強化に努めることを再確認し滞りなく終了しました。



県立水産技術センター研究発表会・見学会のご案内

兵庫県立水産技術センターでは、下記のとおり、研究発表会を開催します。多数のご参加をお願いします。

と き 8月6日（火） 14:00～16:25
と ころ 水産技術センター 2F大研修室
 明石市二見町南二見22-2

研究発表会では、麻痺性貝毒、マガキ人工採苗技術、ワカメの種苗づくり、但馬におけるウニ類の有効利用や海域環境について、最新の研究成果が報告されます。また、当日は水産技術センターの見学会が9:30～12:00の間、開催されます。

プログラムなど詳細は<http://www.hyogo-suigi.jp>のイベント情報、または普及担当（078-941-8602）までお問い合わせください。

国際漁場問題など難問山積の1年

県機船底曳網漁業協会 通常総会

兵庫県機船底曳網漁業協会

但馬の基幹漁業である沖合底曳網漁業の船主を会員とする兵庫県機船底曳網漁業協会の総会が7月4日(木)城崎町で開催され、平成24年度事業報告ならびに収支決算、平成25年度事業計画ならびに予算など上程された6議案が総て原案通り承認された。60数名の出席がありました。なお、今期は任期満了に伴う役

員改選があり、2組合4地区から推薦された役員候補者14名(理事12名、監事2名)は満場一致承認され、別室で行われた理事互選で会長に吉岡修一氏(JF但馬・共進丸)、副会長には川越一男氏(JF浜坂・第一幸榮丸)が再任されました。



総会は、先ず、吉岡会長が燃油の急騰など経営的に大変な1年だったと前置きし、「日韓政府間交渉が遅々として進まないなか、国の窓口人事がコロコロ変わり、これまでの交渉の成果が元に戻ってしまうことを懸念している」と挨拶。続いて、

多くの来賓出席者を代表して水産庁、県水産課、全底連合会、JF兵庫漁連の各代表から祝辞があったあと、濱根秀樹美寿丸船主(JF浜坂)を議長に選任し、総ての議案審議が行われ、最後に川越副会長が挨拶し閉会しました。また、総会に先立ち永年勤続乗組員表彰が行われ、共幸丸(浜坂地区)田中壮一氏をはじめ6名の方々が全国底曳網漁業連合会長賞を受賞されました。

「森から見た砂問題」をテーマに 砂問題研究会・公開講座を開催

(財)兵庫県水産振興基金



豊かな森川海を育てる会(島本信夫会長)・砂問題研究会は、これまで「海から見た砂問題」(垂水)、「川から見た砂問題」(中央区)をテーマに公開講座(JF兵庫漁連協賛)を開催してきており、その第3回目の公開講座が6月30日(日)午後、神戸市中央区の市勤労会館で開催されました。ブナを植える会など市民団体や行政、漁協等の関係者ら約50名が参加しました。

今回は京都大学防災研究所 藤田正治教授から「森から見た砂問題」一つの顔をもつ土砂」について講演があり、森林から生産される土砂の資源(環境保全)と災害という二つの側面について学びました。講師によれば、「近年、流砂系の総合的な土砂管理行政は、止める砂防から流す砂防へと考え方が変わってきている。ただ、水資源は生態系の保全や生活用水、農業用水など価値評価されるが、土砂は建設産業や河川、浅海域の環境保全など重要な資源でありながら、一般論では災害や濁流水などマイナスイメージが大きく資源的価値観が低い。不測の気象条件下で防災と環境保全の両立を目指すことは、貧流砂と富流砂の

極端なアンバランスが必現する自然の土砂動態の本質にどこまで迫れるかであり、その解答を見つけ魅力ある河川技術としての構築するのが研究者らのやり甲斐だ」と締めくくられました。

意見交換会で森林整備と土砂資源の枯渇の関係など様々な意見が出され、予定時間を超える有意義な講演会でした。



藤田教授の講演

6月の“命を守る運動” 海上安全講習会



JF・系統団体が各地で開催している、命を守る運動「海上安全講習会」がこの度、JF福良（前田若男組合長）で開催されました。6月22日（土）に開催された講習会には約70名の方が受講しました。財兵庫県水産振興基金戸田氏 認専務から操業・航行安全についての講演があったほか、JF兵庫漁連から膨張式ライフジャケットの作動体験やメンテナンスの説明を行い、参加者はあらためてライフジャケットの重要性を実感できたようです。

暑い夏でも“命を守る” ライフジャケットの 着用を!!

● 操業中の熱中症に注意!

ライフジャケットも季節に応じ、着こなしませんか。
夏は膨張式、冬はチョッキタイプ。季節や体調にあったライフジャケットを着用しましょう。

募 集!

JF兵庫漁連並びに系統団体では、海水温が高いこの時期、実際に海上（荷捌の岸壁等）で行う、サバイバル訓練の開催地を募集しています。百聞は一見にしかず！ライフジャケットの作動や落水時の対応等を見ていただくことができます。

命を守る運動「海上安全講習会」

を県下各地で開催しております。

講習会の開催申込みは下記団体まで、

主催 県内JF・JF兵庫漁連・共水連兵庫県事務所
兵庫県内海漁船保険組合・(公財)ひょうご豊かな海づくり協会
(財)兵庫県水産振興基金
協力 神戸運輸監理部 神戸海上保安部 姫路海上保安部

講習会開催についてのお問い合わせは
JF兵庫漁連指導部(代表)まで
TEL 078-940-8013



「なくそう。海の事故」

重点事項1 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進



衝突海難防止のポイント

- ① 常時適切な見張りの徹底
航行中または漂流中に常時適切な見張りを徹底する。
- ② 船舶間コミュニケーションの促進
次に、早期に船舶間の意思疎通を図り、相手船の動向を把握することで、適切な操船を行う。
■ 早めに相手船にわかりやすい動作をとる
■ VHFや汽笛信号等を活用する
■ AIS情報の活用と正しい情報の入力

重点事項2 小型船の安全対策の徹底

小型船の安全対策のポイント

- ① 発航前点検の徹底
- ② 航行中のみならず操業・作業中も含めた見張りの徹底
- ③ 気象・海象情報の入手
- ④ ライフジャケット着用等自己救命策の確保

燃料よし！
エンジンオイルよし！
バッテリー電圧よし！
冷却水よし！
発航前点検は
しっかりしなせや



自己救命策3つの基本は、
① ライフジャケットの着用
② 連絡手段の確保
③ 緊急通報番号118番



平成25年度の重点項目は次の2つです。

海の事故ゼロキャンペーン
全国海難防止強調運動(7/16~31)はじまる!

協同組合運動の実践を目指して ～県内全役職員に JA綱領学習資材を配布～

JA兵庫中央会では、協同組合運動を実践できる「人づくり」を進めるため、県内JAグループを挙げて、「JA綱領」学習促進運動に取り組んでいます。その一環として、このたびJA綱領学習資材である「実践！JA綱領～わたしたちの仕事がめざすもの～」を県内JAや連合会、中央会の全役職員に配布しました。

体裁はオールカラーの10頁。内容はJA綱領の解説や、グループ学習用のワークなど。職場内でJA綱領の学習をグループ単位で行い、職場としてすべきことを考え、実践していくことを目的にしています。

また、役職員が常時携帯し、唱和などで活用するために、名刺サイズのJA綱領カードも同様に配布しました。

さらに、組合員や利用者にも意識していただくために「JA綱領ポスター」の軒旋を行い、県内JAや連合会、中央会の本支店などで4月より320枚掲示されています。

今後も、JA兵庫中央会は協同組合運動を実践していくための取り組みを積極的に提案していきます。



JA綱領を分かりやすく解説した学習資材

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

円山川ウォーキングに 20名が参加

たじま医療生活協同組合では、4月22日（月）、ろっぽう診療所駐車場にて「健康づくりチャレンジ」のスタート集会を開催。運動教室でおなじみの浦上 美佐子先生の指導による、「正しいウォーキング方法」の教室が開かれ20名が参加しました。先生からは、

- ・服装はジャージのように動きやすく、途中で温度調節がしやすいものがよい。
- ・足の負担が軽くなるように、履きなれた運動靴で。
- ・帽子を被りタオルを首からさげるなどして、首の後ろを直射日光から守る。
- ・水やお茶などを持って、脱水にならないようにこまめに水分補給する。
- ・荷物はリュックサック等に入れ、手をあけると歩きやすい。

などの注意点をお話ししていただいたあと、ストレッチ体操を行ない、円山川ウォーキングコースを歩きました。参加者からは「いつも1人で歩いているけど、大勢で歩くとお話ししながらなので楽しい」といった声が聞かれました。昨年70名を超える方が参加した「健康づくりチャレンジ」も今年で3回目。「この機会にチャレンジに参加します」という方もおられ、すがすがしい春の一日を過ごしました。



<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

お詫び

6月発行の拓水第680号について下記の誤りがありました。関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。ここに訂正して、お詫び申し上げます。

11頁表題 淡路水交会通常総会開催に関する記事の団体名

① 一般財団法人 淡路水交会 → ② 一般社団法人 淡路水交会



旬に想う

写真と文
遊方子

胡瓜と河童(カッパ)

◆日本料理では「胡瓜」の瑞々しさ歯切れの善さと特有の香りが好まれる。昔、胡瓜は初夏を告げる野菜だった。初物の胡瓜に、割り箸で足を拵え馬に見立て、盆の精霊棚へ並べたりした。江戸時代には、初物を川に流して水の神という河童に供える風習があり、河童がキュウリを好むと考えられていた。寿司屋でキュウリの海苔巻きを《カッパ巻き》というのは此れに由来する。河童の別名が河太郎。河童を愛した文人墨客は多く、火野葦平や芥川龍之介の小説が知られ、清水崑の描いたユーモラスなオンナ河童の絵も著名で、良く知られている。

◆播州の高砂では、河童をガタロと呼んだ。祇園祭りの間は、海にガタロが居て泳ぐ者の尻子玉を抜くと言い伝えられ、祇園さんの子供の名前と年齢を書いた胡瓜を奉納し、水難に遭わぬよう祈ったのだ。河童は、全身が黒っぽい青色で子供の姿をしているという。口がアヒルのように尖っていて、赤い髪を垂らし頭に水を湛えた皿がある。手足には鋭い爪と水掻きを持ち、胡瓜と相撲を大いに好み、いたずら好きだ。馬を川へ引きずり込んだり、田畑を荒らしたりするが、恩義に厚く特定の家の守護霊として田植えや草取りを手伝う。今も川祭りや水神様の祭りには、供物として胡瓜を供える地方が多いのである。

◆全く想像上の動物なのに各地に存在を信じる人々が多い。UFOや湖の恐竜と同様、河童は夢があつて憎めず、胡瓜好きなのは何とも庶民的である。泳ぎの天才なのに「河童の川流れ」と揶揄されたり、「尻の河童」と取るに足らない、た易いことに譬えらえる。同じ意で「河童の尻」というが、これは「木っ葉の火」が訛ったとの説がある。材木の削り屑などを燃やす火で、事に当たって役立たぬ他愛ない事の譬えに使う。鬼や天狗と並び、日本妖怪の代表だが、共にユーモラスな一面を持っている。明石の雑貨店主が河童に関する膨大なコレクションを残して他界、その回顧展では胡瓜を一杯並べての演出だった。

◆胡瓜は夏野菜として家庭菜園でも人気がある。昨今は真冬でも店頭に並ぶが、本来の旬は河童が活躍する夏季であり、暑い時に体を冷やしてくれる野菜だから重宝する。日当たりの良い場所で作れば、成績も良く楽しんでみるものになるが、ウリ科の野菜は砂漠に近い乾燥地の出身が多く、根が深く入らずに地表直下を水平に伸びて、夜露を水分として取り入れている。筆者は「霜知らず地這い」というのを春の彼岸前にマルチ栽培し、夏の終わりに再び蒔く。土壌表面をしつかり耕せば、かなり収穫出来る。胡瓜臭い胡瓜が希みなのだが…。

大輪田塾だより

漁船法と6次産業化について

5月25日(火)に行われた講座では、「漁船法概要」と「水産業における6次産業化とは」の2課題を開講しました。

「漁船法概要」は県水産課 漁政係 山條 喜宣主任が講義を行いました。漁船法や関係法令のほか、漁船の登録や船の容積の測り方など、漁船について様々な説明を受け塾生は理解を深めました。

続く「水産業における6次産業化とは」では県水産課 眞鍋 厚水産業専門技術員が講義を行いました。DVDにより全国で行われている様々な水産業の6次産業化への取組みを見た後、6次産業化とは何か、どういった手法で行われるのかといったことなどを分かりやすく説明していただき、塾生はしっかりと学ぶことが出来ました。



「漁船法概要」の講義風景



眞鍋専技より6次産業について学びました

この後の大輪田塾

日時：平成25年7月9日(火) 13時30分から水産会館にて
講義：「漁業法概要」

日時：平成25年7月22日(月)～23日(火)

淡路・徳島方面で研修。テーマは「ブランド化」
講義：「淡路島3年とらふぐの取組みについて」(JF福良)
「徳島活鰹ブランドの取組みについて」(JF徳島市)など